

支援者のみなさまへ

## 大滝拓也 2017 レース活動のご報告とお礼のご挨拶



日頃より、僕、大滝拓也のレース活動について、多くの方々からたくさんのご支援をいただき、心より感謝いたします。金銭面での支援はもちろんのこと、フェイスブックやサーキットでの心温まる応援やメッセージの言葉は、僕のレース活動において、とても大きな力となっています。

さて、「勝負の年」として臨んだ2017シーズンは、4月、開幕の岡山大会では、3位表彰台を獲得し、最高のスタートを切ることができました。

5月の富士大会では、苦しいレースを強いられ、結果を残すことはできませんでしたが、たくさんの方々から富士スピードウェイまで駆けつけて応援してくださり、とても心強かったことを今でも覚えています。

続く大分大会ですが、1レース目では、操縦不能となった他車に突っ込まれて大クラッシュとなりリタイアを余儀なくされ、2レースも苦しいレースを強いられることとなりました。レース後、「自分があの位置にいないければ、クラッシュに巻き込まれることもなかっただろう」と思い、予選で上位につけられず、下位の車と走らなければならない位置に自分いたことが一番の敗因だったと学習したところでした。



次のレースは7月のSUGOでした。僕にとっては、走り慣れていないコースであります。やはり東北、地元のコース。後援会のたくさんの方々から応援に駆けつけてくださり、大応援団を結成してくださいました。そのことは本当にうれしいことでしたが、僕にとっては、ある意味、プレッシャーでもありました。しかし、その「いいプレッシャー」が、このSUGOで最高の結果をもたらしてくれました。1レース目は2位表彰台、そして荒れに荒れた雨の2レース目は残

り数周でトップに立ち、地元東北の地でみごと優勝を飾ることができました。レース後は、応援団のみなさまと喜びを分かち合い、その日の夜、山形に戻ってからは、大祝勝会を行っていただきました。あの日の感動は、今も僕の心に深く刻まれています。最高の大会でした！

8月に入り、2回目の富士大会となりました。前回と同じく、思うような結果を出すことはできませんでしたが、6位、9位と少ないながらもポイントを稼ぐことができました。年間7大会14レースのうち、2大会4レース、年間の30%弱を占める富士スピードウェイでのレースをいかに攻略するかが、FIA-F4でチャンピオンを取るためのカギであると学んだシーズンでした。

8月後半、昨年優勝をした鈴鹿大会を迎えました。僕にとって、鈴鹿サーキットは「地元」であり、レーシングスクールでも何度も走りこんでいるコースです。何としても勝ちたいコースでした。昨年に引き続き、山形大学工学部の同窓会である米沢工業会の関西支部の方々が、今回は「大滝拓也後援会西日本支部」として、大応援団を結成して応援に駆けつけてくださいました。みなさんと熱い声援に勇気づけられ、「絶対優勝するぞ！」とあって予選と決勝に



臨みましたが、残念ながら優勝を果たすことは叶いませんでした。本当に悔しく、来年は鈴鹿大会で絶対2連勝し、米沢工業会関西支部・大滝拓也後援会西日本支部の方々に恩返しをすると心に誓った大会でした。みなさんの温かい応援は絶対に忘れません。

そして11月、最終のもてぎ大会となりました。あまり得意でないツインリンクもてぎでは、予選でうまく上位につけることができず、結果として決勝でも上位に食い込むことができませんでした。もてぎにも、たくさんの方々が応援に駆けつけてくださり、パドックにきて応援のメッセージをいただけた事、本当にうれしかったです。今回は、結果で恩返しできませんでしたが、今できる精一杯の走りをして、みなさんの声援に答えたと考えています。

年間でのランキングは5位となり、JAF（日本自動車連盟）の表彰式に招待を受けることとなりました。表彰式には、たくさんのお有名レーサーが来ていて、本当にいい経験をさせていただきました。こうして日本のモータースポーツ界への仲間入りをすることができたことは、僕にとって大きな自信となっています。

今年は、悩まされたシーズンでしたが、そんな苦しい中でも、やれることを探し、与えられた環境でのベストを目指す、そんな勉強ができた1年でした。たくさん勝てないことは悔しいですが、その中でもコツコツとポイントを重ねていくことも、長いシーズンを戦っていく上では必要な能力です。今年はそのことを改めて学ばされたと思っています。

さて、来季、2018シーズンは、まだどのカテゴリーでレースをするのか決定していない状況です。3年目のFIA-F4参戦となるのか、全日本F3参戦となるのか。仮に3年目のFIA-F4参戦となった場合は、今年が最後のチャレンジと考え、「背水の陣」の気持ちで、全力でチャンピオン獲得を狙っていくつもりです。全日本F3参戦となった場合は、これまでカートやF4で培ったノウハウを最大限に活用し、F1昇格を目指して全身全霊、レース活動に邁進していきたいと考えています。

最後になりますが、これまでのみなさまのご支援に心より感謝申し上げ、来季も引き続きご支援賜りますことをお願い申し上げ、僕、大滝拓也のお礼の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございます。そして今後ともよろしくお願いたします。

2017年12月31日

未来のF1チャンピオン

# 大滝 拓也



## 大滝拓也 2017シーズン レース結果

		予選	決勝	ポイント		予選	決勝	ポイント	総合
岡山	第01戦	8位	7位	6p	第02戦	9位	3位	15p	5位
富士	第03戦	15位	14位	0p	第04戦	15位	13位	0p	7位
大分	第05戦	18位	リタイア	0p	第06戦	16位	12位	0p	11位
菅生	第07戦	8位	2位	18p	第08戦	6位	1位	25p	5位
富士	第09戦	9位	6位	8p	第10戦	9位	9位	2p	5位
鈴鹿	第11戦	9位	7位	6p	第12戦	8位	8位	4p	5位
もてぎ	第13戦	12位	7位	6p	第14戦	10位	8位	4p	5位

